

ジョン・バニム

1 親愛なる神父様

曲—「愛しのアイリーン」

皆が言うように私は奴隷なのでしょうか 親愛なる神父様 もう奴隷にならなくて済むように 親愛なる神父様 貴方様はお示しになりました 古 <small>いにしえ</small> からのアイルランドの奴隷制を あの人たちは私に課すけれど 親愛なる神父様	5
なぜこの国の哀れな男は 親愛なる神父様 力の限りを尽くさないのでしょうか 親愛なる神父様 自国の支配を実現させるために 自らの心とその意志で 貴方様と手を携えぬのでしょうか 親愛なる神父様	10 15
貴方様に忠実にそして勇敢に 親愛なる神父様 けれども貴方様の奴隷となることはなく 親愛なる神父様 貴方様に対する恐れから おそばに仕えるのでもなく ああ 貴方様に対する恐れからではなく 親愛なる神父様	20
誰だったのでしょうか あの冬の夜に 親愛なる神父様 身を切る冷たい風の吹くときに 親愛なる神父様 私の小屋の戸口へ来て そして 土の床の上 貧しく病に伏せる私のそばに跪いたのは	25 30

親愛なる神父様

誰だったのでしょうか 結婚式の日

親愛なる神父様

あの貧しい小屋を明るくしたのは

35

親愛なる神父様

ともに笑うたって

皆で心を躍らせたのは

あのみすぼらしい洗礼式で

親愛なる神父様

40

誰だったのでしょうか 唯一無二の友として

親愛なる神父様

決して私を^{あざけ}嘲ることなく

親愛なる神父様

炉辺の火が落ちた時

45

その瞳に涙を浮かべ

私がすべき施しを私に与えてくださったのは

親愛なる神父様

ああ それは 唯一貴方様だけです

親愛なる神父様

50

だからこそ私は貴方様に忠実だったので

親愛なる神父様

この愛をあの人たちが揺るがすことはありません

^{いにしえ}古からのアイルランドのため

私たちは大事な役目を果たしたので

55

親愛なる神父様

(三木菜緒美訳)